

# おすすめ本紹介



「みどりのゆび」  
モリス・ドリュオン 作 安東次男 訳  
岩波書店

チトはくあなたのお子さんは、ほかのお子さんとおなじではありませんので、わたくしどもではおあずかりいたしかねます。>という学校の先生からの手紙とともに、学校をやめさせられてしまいます。

でも、チトにはある特別な能力がありました。

その特別な能力と、考える力と、見きわめる眼と、行動力で、陰気な刑務所を、貧乏街を、楽しみのない病院を明るくすばらしいところに変えていきます。

子どもらしい率直な疑問が、世の中の不条理(オカシナところ)を鋭くついでいて、読んでいてハッとさせられます。チトの能力に気づき、認めてくれている、庭師のひげさんの話もいいんです!

難しい漢字にはふりがながついているので、小学校高学年くらいから読めると思いますが、固定観念にとらわれがちな大人が読んでも新鮮な発見のある、奥の深い作品です。

私たちに、チトのような特別な力はないけれど、それでも自分たちにできることが、何かあるかもしれません。

# おすすめ映画紹介



「レインマン(RAIN MAN)」  
製作年・1988年 製作国・アメリカ合衆国  
監督・バリー・レビンソン  
(ベルリン映画祭金熊賞、米アカデミー作功賞ほか)

父親の死後、自分に兄がいたことを初めて知ったチャーリー(トム・クルーズ)は、お金欲しさに遺産相続人となった自閉症の兄(ダスティン・ホフマン)を施設から連れ出すが、理解できない兄の行動にとまどい、いらだつ。でも、いつしか心通じ合う瞬間も…。

ダスティン・ホフマンがこの作品でアカデミー賞主演男優賞を受賞しましたが、若きトム・クルーズもさすが!!です。

派手ではないけれど、2人の関係の微妙な変化に引き込まれ、見終わった後、やさしい気分になります。

## オマケ

本作でアカデミー脚本賞を受賞したロナルド・バスの新作「モーツァルトとクジラ」が全国の映画館で公開中です。この映画もまた知的障害を伴わない自閉症「アスペルガー症候群」を題材とした映画です。映画を見れない人のためには、原作本が日本放送出版協会から出てますよ。

## あとがき

「夢咲楽～和輪話通信～」は、広報さくら等で受講生を公募して、平成18年10月24日から平成19年2月8日までの全10回シリーズとして開講した少年指導員養成講座「未来を育む」まちづくり市民大学の「広報紙づくりにチャレンジ」実習として作成したものです。12/12と1/11に塩谷教育事務所 加藤正明 社会教育主事から指導を受けた後、2/8と2/11の編集会議を経て発刊に至りました。

チャレンジ実習の参加者ならびに編集・執筆に関わった市民大学修了生は以下の通りです。(敬称略、あいうえお順、編集会議参加者は※印) 稲見純子※、内山正、岡一雄※、小野明美、恩田絵理、加藤明代、加藤朋子※、加藤有希、亀田格男、五江潤賢一、田代真澄※、福田克※、舟本幸美※、森山京逸※。

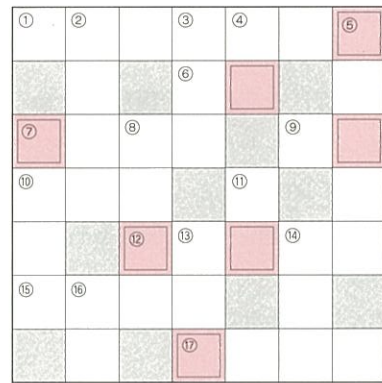
次号発行は7月を予定しております。本紙についてご提言等がございましたらご遠慮なく事務局あてにご連絡ください。市民大学修了生とともに「さくら市の子どものための少年指導員になりたい」と希望される方についてもご一報ください。私たちと一緒にさくら市の子どもをみんなで育てましょう。

## 「夢咲楽～和輪話通信～」は市民大学生が作りました



「夢咲楽～和輪話通信～」は市民大学生が作りました

ゆめさくら わわわつしん  
夢咲楽～和輪話通信～ 創刊号  
発行日 平成19年3月1日  
発行 さくら市青少年センター(事務局 生涯学習課)  
〒329-1492 栃木県さくら市喜連川4420-1  
電話 028-686-6621 FAX 028-686-5368  
電子メール syogaigakusyu@city.tochigi-sakura.lg.jp



## パズルズ

二重ワクの文字を並び替えると出てくる言葉は? 答えがわかった人は、3月31日までにハガキに答えとこの広報紙の感想を書いて市青少年センターあてに「お尋ねせたくたのぞき」の封筒に入れてください。答えをくださった方から抽選で5名様に「喜連川のむかしばなし」をプレゼントいたします。

- ②さくら市ゆかりの童謡詩人 野口〇〇〇〇。
- ③〇〇〇〇追いつ、かの山。
- ④さくら市名物 温泉〇〇。
- ⑤喜連川塩谷氏の居城は〇〇〇〇〇〇城。
- ⑦狭間田地区にある〇〇〇〇遺跡。(古墳時代)
- ⑧今年には〇〇〇〇駅開設110年。
- ⑩江戸中期から幕末までの宇都宮藩主は〇〇氏。(氏家地区は宇都宮藩に属していた)
- ⑬鮎の内臓で作る、うるかは〇〇〇の1つ。
- ⑭さくら市は、ほど良い〇〇〇。(都会の反対)
- ⑮シーズンになると荒川や鬼怒川に〇〇人が沢山訪れる。

- ①鬼怒川の河川敷公園は〇〇〇〇〇〇〇〇。
  - ⑥太陽を英語にすると〇〇。
  - ⑦公民館で囲碁・〇〇〇〇の大会開催。
  - ⑨さくら市の姉妹都市は〇〇市。(茨城県)
  - ⑩温泉には〇〇〇〇客がいっぱい。
  - ⑫個人の生涯を記録した〇〇〇〇〇。
  - ⑭自分自身と家族のためにも〇〇〇〇は止める。
  - ⑯生涯学習は市役所と〇〇〇〇の協働作業。
- (〇にはすべてひらがなが入ります。)

タテ

ヨコ



毎月第3日曜日は  
家庭の日

# 夢咲楽

## ～和輪話通信～

### ♪サクラ咲ケ

僕の胸のなかに芽生えた 名もなき夢たち  
振り向くな 後ろには 明日はないから 前を向け

桜が咲く季節、それはまた夢を咲かせる季節。

さくら市に新しい出会いと未来を作るために「夢咲楽～和輪話通信～」が誕生しました。和やかに輪になって話そうが合い言葉です。

♪♪未来なんてさ すぐ変わる 変えてみせる

(引用楽曲・サクラ咲ケ 詞・相田毅)

## ♪家族で話そ♪

最近ようやく、中3の息子が話をしてくれるようになりました。^o^

それまでの彼ときたら反抗期の真っ最中。いつでも不機嫌そのもので、話しかけても面倒くさそうに「別に～」[びみよ～]が交互に返ってくるだけ。ちょっと意見でもしようものなら、「もういいよ!」「だから話したくなかったんだ!!」と叫んで、食べかけのお茶碗をバンと置き、ダンダンと足音高く2階の自室にこもってしまったものでした。あの頃は本当に食事時が辛かったです。

我が家の食堂にはテレビがありません。私自身がテレビをあまり好きではない事と、「食事のときくらい楽しく家族でおしゃべりしたいね」と、テレビは置かないことにしたので。だから子ども達は、あれこれいろんな事をよくしゃべってくれました。ところが息子が反抗期に入ってから、皆でじっと押し黙って、箸を運ぶ事態となりました。この反抗期が、成長の一環として通り抜けなくてはならない過程だとわかっていても、ため息が出る毎日でした。

そして1年余り。まるで蝶が脱皮するように、息子も反抗期をくぐり抜けたようです。また快活で、おしゃべりな彼が帰ってきました。うれしくてはしゃぎ気味の私は、あれこれ息子にばかり話しかけて、そろそろ反抗期に入り始めている娘の視線が…おととと。

不思議なもので、久しぶりに会話する息子は、なんだか本当に「大人」になったと感じます。親を乗り越えて、しっかりと自分というものを確立しつつあるのでしょうか。親馬鹿でしょうか?

考えてみれば、彼が高校へ進み、さらに進学し、就職し親元を離れていってしまう日も、そう遠い先ではありません。時間差で娘も去って行くのでしょうか。こうやって一緒に馬鹿話をしながら食事ができるのも、もう後何年でしょう。残された時間を慈しみながら、いっぱい、いっぱい家族でおしゃべりをしたいと思う今日この頃です。



## こんにちは! さくらリーダーズクラブ です!!



【問い合わせ】  
さくら市教育委員会事務局生涯学習課 TEL 686-6621  
【ホームページアドレス】  
<http://www2.city.tochigi-sakura.lg.jp/syougaiyakusyuu/ri-da-su/leaders.html>(さくら市役所TOPページからリンクしています)

さくらリーダーズクラブは、さくら市の高校生・中学生の、地域で活動するボランティアグループです。毎週金曜日の午後7時から8時50分まで、氏家・喜連川の各公民館に集まって活動しています。

現在、高校生23名、中学生6名で活動しています。メンバーはいろいろな学校から集まっていますので、ほかの学校の人と友だちになることができます。

主な活動は、子ども会のキャンプなど体験活動事業への参加協力のほか、小学生を対象とした運動会やクリスマス会などを企画・実施しています。子どもたちのためにレクリエーションやゲームを考えたり、一緒に登山をしたりスケートに行ったりするのはとても楽しいです。そして、学校ではあまり学べないことを自分自身で体験して学ぶことができるので、とても充実した学生生活を送ることができます。

さくら市に住んでいる高校生と中学生の皆さん、是非、私たちと一緒に活動してみませんか？初めは見学だけでもOKです。興味をもった人は電話してね!!

### さくら市を知ろう

お雛様探して、さくら市

## 再発見

平成の大合併で、さくら市が誕生して2年が経ちました。みなさんは、「さくら市民です」と言えるようになりましたか？ようやく、さくら市民というのが定着してきたのではないのでしょうか？

さて問題です。さくら市には市民が主体の団体、行事がいくつあるのでしょうか？

答えは、数えきれません。さくら市を「明るくしたい」「良くしたい」「楽しくしたい」という思い、たくさんの市民パワーがあるのは間違いありません。

今回は、「さくら市を知ろう」ということで、「町おこし」「まちづくり」に取り組んでいるまちづくり団体にスポットを当て、季節柄「氏家雛めぐり」の行事を取り上げました。

雛めぐりは、平成16年に、街の中に賑わいを取り戻そうと、商店街32ヶ所で人形を飾ったのが始まりです。評判も上々で、年々回を重ねるごとに盛り上がり、昨年は80ヶ所まで増え1万人を超す人で賑わい、さくら市の名物行事のひとつとなりました。

今年で4回目を迎える雛めぐりは、2月10日(土)から3月11日(日)まで開催されます。「駅を降りたその時から」のキャッチフレーズどおり、江戸・明治・大正・昭和・平成と5つの時代を越えて、たくさんのお雛様が駅前商店街をはじめ、公共施設、そして個人宅にまで飾られ、eプラザ式番館では市民所有の雛人形やつるし雛も飾られます。また、各種団体の協力のもと、楽しい語りとおカリナ演奏、懐かしい映画、フリーマーケット、琴・津軽三味線の演奏会や体験教室など、数多くの企画も盛りたくさんです。さらに、駅からハイキング「氏家雛めぐりと歴史探訪のミュージアム散策」も行われます。

この機会に日本の伝統文化である、「雛祭り」「雛人形」を再認識するとともに、お店をはじめとしたたくさんの人とのふれあいを通じて、コミュニケーションを深めてみてはいかがでしょうか？市民参加の企画が盛りたくさん。「新たな発見」きっとあなたの知らないさくら市が見つかるかもしれません。

さあ、スニーカーを履いて、みんなで出掛けましょう!!

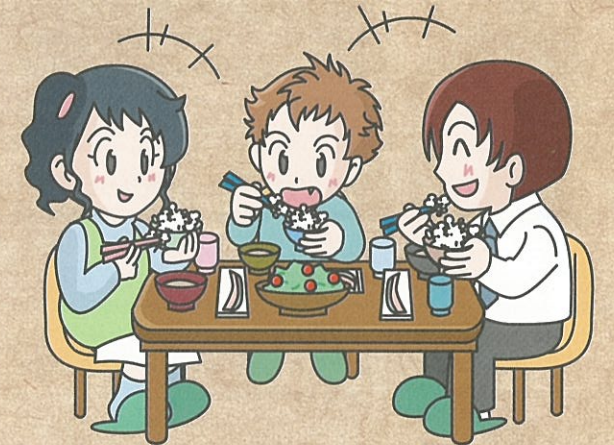
## 家庭の食卓から社会が変わる!!

2005年7月「子どもたちが豊かな人間性を育み、生きる力を身につけていくために」、「食育基本法」が制定されました。「食」について考えてみたいと思います。

命を支えている私たちの食事  
現在は、若い人ばかりではなく、その母親の世代が、満足に料理を作れなくなってきていると指摘があります。「孤食」「個食」の現代。ながら食事・勝手ままな食事はつつしみましよう。たとえ胃袋は満たされても、心と体が満たされません。「自分だけの食生活」の危なさも指摘されています。

食は人任せにしない  
家庭においては大人が食事をいい加減にしないことを意識することが大切です。魚、肉、野菜すべて命あるものをいただいているという思い。食べ物を粗末にしない。このことが命や食生産者への感謝につながっていきます。

「何をどれだけ食べるか」が大切。  
「好きなものを、好きなだけ、好きなように食べる」では成り立ちません。  
このような食生活の積み重ねで体を壊すことにもなりかねません。  
健康情報や新製品情報を気にし過ぎて栄養を「数字」で食べたり偏った食事にすることも考えものです。「家族には何が必要で何をどれだけ食べるか」知ることが大切です。



また「どうやっておいしく食べるか」この気持ちが備われば「心」と「体」が満たされていくものと思います。

家庭の食卓が第一歩  
胃袋を満たすだけではなく、家族の絆をつくる場所。家族が集って笑顔がある食卓に。食事は人生にとって大切なことであると再認識する時ではないでしょうか。食も生活習慣の重要なポイントです。食は、物事の見方や価値観、人生観に大に関わるもの。社会を映す鏡でもあります。日々の食事が、やがて人生や社会に大きな影響を与えることを意識することが大切です。食が変われば「こころ」が変わる。「こころ」が変われば「行動」も変わります。

最後に近年指摘されていることは「世界で一番眠らない日本の子どもたち」とあります。24時間営業のコンビニ等が身近になり、また深夜の託児所を設けたりと本来は大人の領域の場所に子どもの姿を見かけることが多くなりました。自分の子どもは夜型の生活習慣ではないか？再チェックしてみましょう。統計的、医学的にも「朝に勝つ子はグーンと伸びる」ことは証明されています。中でも朝食をとることは重要なことでもあります。子どもたちへ早寝・早起き・朝ご飯を心がけさせていくことも大人の責任と感じます。